

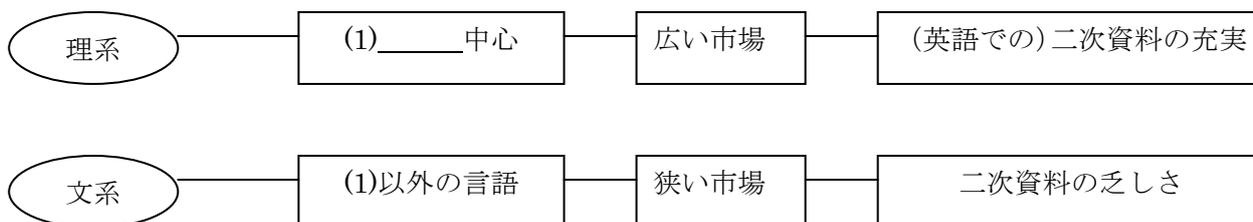
「専門資料の種類(2)：自然科学，工学・工業技術の資料」

★ 本日のねらい：「理系」＝自然科学，工学・工業技術の資料（特に二次資料）について，その種類を学ぶ。前半では総合的な情報源を，後半では医学関連の情報源を紹介する。

（なぜ医学か：今後重要な図書館サービスの領域と考えられているため。）

◆ 「理系」の二次資料の特色

* 「言葉」と「市場」をめぐる問題



※復習：なぜ(1)中心か（第4回の授業より）

理系では研究をめぐる国際的な競争が激しいため，研究成果を広く読んでもらうためには英語の習得が必要。

* 「理系」では(2) _____ および抄録データベースが重要な役割を果たす。

・（復習）(3) _____（論文・記事などの文献の掲載箇所を指示するもの）のうち，個々の文献の概略を示した(4) _____をつけたものが(2)。

→ 「理系」の場合，(2)によって個々の文献の内容を手早く知ることが利用者にとって大事とされてきた。（ヨーロッパでは19世紀，日本でも20世紀初頭から(2)が普及）

【「理系」の総合的情報源】

◆ 日本の総合的情報源

* 日本で「理系」の二次資料を中心的に作成・管理してきた機関として，(5) _____ 関連の独立行政法人である(6) _____（JST: Japan Science and Technology Agency）が存在する。

・以下で紹介する「日本の総合的情報源」は，すべて(6)が作成・管理。

もとは1957年設立の政府機関「日本科学技術情報センター」が，以下の「総合的情報源」の提供を行ってきた。（その後，他の機関と合併して「科学技術振興事業団」→(6)となる）

・科学技術研究に対する補助金支給，「日本科学未来館」（お台場）の運営なども(6)の業務に含まれる。

<抄録誌 (冊子体および CD-ROM) >

* (7) _____

・「理系」の各分野の抄録誌。国内・国外の学術論文，テクニカル・レポート，会議録中の論文に関する書誌データ（表題，著者，掲載雑誌・会議等，掲載ページなど）および抄録を載せる。

（国外の文献であっても，表題・抄録は日本語で掲載）

・「化学・化学工業編（外国編，国内編に分かれる）」「機械工学編」「電気工学編」「金属工学・鉱山工学・地球科学編」「土木・建築工学編」「物理・応用物理編」「管理・システム技術編」「環境公害編」「ライフサイエンス編」「エネルギー・原子力工学編」に分かれる。冊子体の刊行ペースは種類により旬刊（月 3 回刊），月 2 回刊，月刊に分かれる。

・「管理・システム技術編」は「経営管理」「電子商取引」など経営学分野の論文データも収録。

・冊子体の料金は年間 127,800 円（環境公害編）～327,100 円（化学・化学工業編（外国編））。

<抄録データベース>

(7)と同じデータ，およびそれ以外のデータが，下記データベース（JDream II，JDream Petit）で検索できる。

東洋大では JDream II が全キャンパスで利用可能。

* (8) _____ (JST Document REtrieval system for Academic and Medical fields II)

・2003 年 10 月に「JDream」のサービスを開始。（それ以前から(7)をベースとしたデータベースがあった）

2006 年 4 月に機能を拡充し「JDream II」となる。

・「固定料金制」により，大学などの教育・研究機関，病院，医療分野に携わる企業などが，「理系」の論文データを Web 上で自由に検索できる。

➤ 「従量制」（利用した分だけ課金）での契約も可能。

・短縮前のタイトル（“Medical fields”）にあるように，医学情報にも焦点を当てたサービスとなっている。

・料金は所属機関の性質（大学か病院か企業か，など）や所属人数によって変わる。

（例：1 病院あたり年額 300,000 円より）

・公共図書館に対しては，「ビジネス支援」目的での料金プランあり。

（例として品川区立大崎図書館が JDream 導入）

* JDream Petit <http://pr.jst.go.jp/jdreampetit/>

・個人利用者向けのデータベース・サービス。固定料金制であり，月額 1,000 円で使い放題。（無料の「お試し検索」も 1 回限りで可）

・JDream II に比べ，検索機能が簡略化されており，利用できるデータベースの範囲もやや狭い。

（例：「医学・薬学予稿集全文データベース」は JDream Petit では利用不可。ただし，JDream II でも契約内容によってはこれを利用できない）

◆海外の総合的情報源

- * (9) _____ : 引用文献索引データベース。東洋大の全キャンパスで利用可。
・「引用文献索引」である”Citation Index”シリーズ (アメリカ・Institute for Scientific Information 社) をデータベース化したもの。
・理系のみならず文系の文献データも含む (ただし英語)。各文献データに抄録がつく。
・通常の「索引データベース」としての機能に加え、文献どうしの引用関係が分かる。

【医学関連の情報源】

このテーマにかかわる参考文献：

- ・健康情報棚プロジェクト編『からだと病気の情報をさがす・届ける』(読書工房, 2005)
- ・「健康情報棚プロジェクト」とは、「闘病記」を含めた医学資料・医学情報の普及をめざす民間団体で、図書館員、研究者、ジャーナリストなどが参加。

◆ 医学資料の流通・利用をめぐる課題

<(a)高度な情報> 医学文献・医学研究書

|

<(b)中間的な情報> (10) _____ ・ (11) _____

|

<(c)一般向けの情報> 家庭医学書・健康雑誌

- ・ (a)は「医療従事者 (医師・看護師ら)」向けの情報として、従来は一般には入手しにくかったが、じょじょに入手しやすくなっている。
 - データベースの整備：JDream II, 医中誌 Web (後述) など。
 - 大学図書館の一般公開：国立大学図書館 (医学部の図書館も含め) は、2004 年 4 月より一般公開されている。
- ・ (b)について：
 - (10)：個人 (患者やその家族) による病気の体験記。
 - (11)：特定の病気 (難病, 慢性病が多い) の患者や家族が結成した団体 (患者会) が発行する資料。
→ これらは、図書館における既存の分類体系や件名標目に収まりきれないこともあり、図書館での収集や書棚への配置が的確な人たちでは成されてこなかった。
(闘病記の場合、書名に病名が現れないことが多い。例：『1 リットルの涙』)

→→新たな動き：

- ・ 東京都立中央図書館（渋谷区広尾）での「医療情報コーナー」開設（2004 年 6 月）
 - 医学部の学部生を対象とするレベルの基本図書をそろえるほか、「闘病記文庫」（約 1,000 冊の闘病記をまとめて排架しているコーナー）を設置。
<http://www.library.metro.tokyo.jp/1n/index.html>
ほか、日本国内のいくつかの公共図書館，大学図書館，医学図書館などで「闘病記」のコーナーが置かれている。
- ・ 国立情報学研究所，健康情報棚プロジェクトによる闘病記検索サイト「闘病記ライブラリー」：2006 年 6 月開設。 <http://toubyoki.info/>
- ・ （参照）闘病記専門のオンライン古書店「パラメディカ」
<http://homepage3.nifty.com/paramedica/>

※患者や家族にとって必要な情報は、「入門編」としての(c)から「中・上級編」としての(b)(a)へと、刻々と変化する。→こうした要求への対処が，館種を問わず図書館に求められている。

・一方，図書館における医療関係のレファレンスでは，「特定の治療法を薦めない」「資料の所在を提示するにとどめる」など，慎重な態度が求められる。

※医学以外での「理系」の領域では，「一般向けの情報」である一般書（「ブルーバックス」など）や雑誌（『ナショナルジオグラフィック』『ニュートン』など）と「高度な情報」である学術論文との隔たりが大きい。

◆ 医学関連の情報源（日本）

* (12) _____ （通称「医中誌」）

- ・ 民間団体である「医学中央雑誌刊行会」が発行。
- ・ 1903（明治 36）年創刊の，医学・歯学・薬学・看護学関連の二次資料。日本国内の論文データを収録。
- ・ 冊子体（現在，1 年間のデータを集約した「年間累積版」のみ発行）では 1995 年限りで抄録を廃止。CD-ROM 版（2006 年 3 月で終了），Web 版では抄録を含む。
- ・ 「医中誌 Web」：大学・病院・企業など機関向けの Web データベース。料金は同時アクセス数によって異なる（同時アクセス数 3・4 で，年額 472,500 円）。東洋大では朝霞（ライフデザイン学部），板倉（生命科学部を含む）キャンパスで利用可。
- ・ 「医中誌パーソナル Web」：個人向けの Web データベース。料金は(a)1 ヶ月あたり 6 時間利用で 2,100 円，または(b)1 ヶ月あたり 11 時間利用で 4,200 円，を選択。(a)(b)ともに超過料金 1 時間につき 840 円。検索できるデータは「医中誌 Web」と同一。（無料の「デモ版」もあり）

※JDream II と医中誌 Web との違い

- JDream II では医学以外の周辺分野を幅広く検索できる。
- JDream II のほうが昔のデータを検索できる (JDream II では、日本国内の医学系データは 1981 年から、その他の科学技術系データは 1975 年から。医中誌 Web は 1983 年から)。
- JDream II のほうが抄録添付の割合が高い。
- 医中誌 Web では検索条件を細かく指定できる。

——いずれにしても、医学・看護学関係の情報源として、JDream II と医中誌 Web が多用される。

◆医学関連の情報源 (米国)

* (13) _____ <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/>

- 米国の国立医学図書館 (National Library of Medicine) が作成・管理。
- 1879 年に冊子体の Index Medicus として創刊 (現在も継続)
 - オンライン検索システムとして MEDLINE を構築 (現在も継続)
 - MEDLINE のデータを用いた Web 上での無料検索サービスとして(13)が構築される (1997 年運用開始)。
- 多くの文献は本文も無料で閲覧可能。

◆その他、医学に関連する情報源 (下の 4 つはすべて無料)

和雑誌特集記事索引データベース (東京大学医学部図書館)

<http://www.lib.m.u-tokyo.ac.jp/cgi-source/tokushu-1.html>

医学関連の「和雑誌特集名」データを検索できる。

とくとくとびっく (臨床医学和雑誌特集記事データベース) ((株) サンメディア)

<http://www.sunmedia.co.jp/e-port/tokusyu/>

特集名のみならず、特集に含まれる論文のタイトルまで分かる。

Web 患者図書館 (日本病院患者図書館協会)

<http://www.jhpla.jp/>

健康法、治療法などを扱った図書、雑誌記事、新聞記事を検索できる。

医療情報リンク集 (全国患者図書サービス連絡会。最終更新が 2005 年 2 月と古いですが…)

<http://www.kanjatosho.com/link/index.html>

★ まとめ：「理系」の情報源は高価だった ((14)_____でないと買えない) が、最近は(15)_____が可能な情報源，無料の情報源も出現しつつある。

【次回予告】(11/23 は休日，11/30 に)

「百科事典」を含め，一般的な情報源，および「文系」の情報源について解説する。